

令和2年度 1級建築施工管理技術検定 実地試験  
GET 研究所 解答速報 (試案)

**問題1 施工経験記述 (省略)**

施工経験記述(工程管理)であるため、解答例は省略します。

**問題2 施工計画 (解答例)**

**1. 外部枠組足場を安全に使用するための留意事項**

- ①墜落のおそれがある箇所に、交差筋かいおよび高さ 15cm 以上 40cm 以下の棧を設ける。
- ②足場の床材は、転位・脱落しないように、2 以上の支持物に取り付ける。

**2. コンクリートポンプ車を安全に使用するための留意事項**

- ①輸送管の組立てを行うときは、作業の方法・手順等を定め、作業を指揮する者を指名する。
- ②コンクリートの吹出しによる危険が生じる箇所に、労働者を立ち入らせないようにする。

**3. 建設用リフトを安全に使用するための留意事項**

- ①運転について一定の合図を定め、合図を行う者を指名し、その者に合図を行わせる。
- ②建設用リフトの搬器を上げたまま、運転位置から離れないようにする。

**問題3 躯体工事 (解答)**

- 1. 最も不適当な箇所番号① 適切な語句又は数値 10
- 2. 最も不適当な箇所番号③ 適切な語句又は数値 ディープウェル
- 3. 最も不適当な箇所番号② 適切な語句又は数値 100[mm]
- 4. 最も不適当な箇所番号① 適切な語句又は数値 25[mm]
- 5. 最も不適当な箇所番号② 適切な語句又は数値 根がらみ
- 6. 最も不適当な箇所番号③ 適切な語句又は数値 30[度]
- 7. 最も不適当な箇所番号③ 適切な語句又は数値 内側
- 8. 最も不適当な箇所番号③ 適切な語句又は数値 ブローホール

#### 問題4 仕上げ工事（解答例）

##### 1. 外壁タイル張りの留意事項

- ①接着剤は、金ごてで平坦に塗布した後、所定のクシ目ごてでクシ目を立てる。
- ②1枚張りとするときは、手でもみ込むように押さえつけて張り付ける。

##### 2. 金属製折板屋根葺きの留意事項

- ①タイトフレームの隅肉溶接のサイズは、タイトフレームの板厚と同じにする。
- ②水上部分の折板と壁との取合い部に設ける雨押えは、壁際立上りを150mm以上とする。

##### 3. 天井仕上げの留意事項

- ①ロックウール化粧吸音板の張付けは、目通りよく、不陸や目違いがないように行う。
- ②石膏ボード下地の目地とロックウール化粧吸音板の目地が重ならないようにする。

##### 4. 硬質ウレタンフォームの吹付けの留意事項

- ①吹付け作業中は、吹付け厚さをワイヤージージなどで随時確認する。
- ②吹付け厚さが厚くなりすぎたときは、カッターナイフで表層を除去する。

#### 問題5 施工管理（解答）

##### 1. 作業A4及び作業B4の作業内容

ビニルクロス張り

##### 2. 作業B2のフリーフロート

2日

##### 3. 総所要日数と工事完了日

総所要日数 24日 工事完了日 3月15日

##### 4. 当てはまる数値

㊸作業B2の人数 3[人] ㊹作業B4の人数 2[人]

#### 問題6 建築法規（解答）

##### 1. 建設業法の語句又は数値

- ① 20[日]      ② 特約

##### 2. 建築基準法施行令の語句

- ③ 点検      ④ 沈下

##### 3. 労働安全衛生法の語句

- ⑤ 危険      ⑥ 教育